



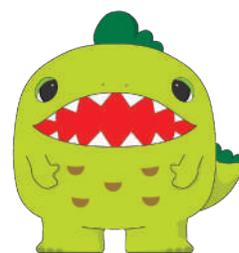
御船町スポーツ推進計画

「健康いきいき、活気あふれる
スポーツの町 みふね」



令和2年3月

御船町教育委員会



1 計画策定の趣旨

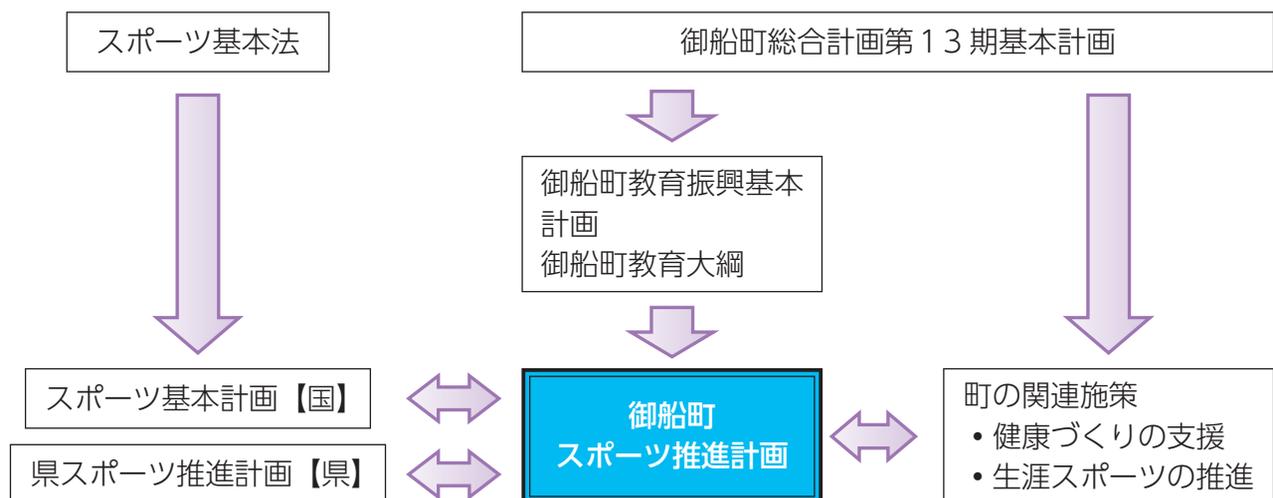
スポーツは、人間本来の身体を動かすという欲求に応えるとともに、心身の健康の保持増進や体力の向上、爽快感や達成感、他者との連帯感など、精神的な充足も図っています。また、スポーツを行うことで生まれる、人と人、地域と地域の交流は、町の一体感や活力を醸成します。

本計画は、多様化した町民のニーズに応え、町民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツや健康づくりに取り組むことができる環境づくりを町民と協働して推進し、スポーツを通して健康で明るく豊かな生活を送るための施策をまとめたものです。

2 計画の位置づけ

この計画は、スポーツ基本法第10条に基づく地方スポーツ推進に関する計画で、国が新たに策定した「第2期スポーツ基本計画」を踏まえ、中・長期的視点に立って、スポーツに関する施策を総合的・計画的に推進するものです。

また、町の上位計画である「御船町総合計画第13期基本計画」やその他関連計画等と連携し、多角的に住民のスポーツ活動を推進するためのものです。



3 計画の期間

この計画は、既に策定している「御船町スポーツ推進計画（第1期）」における目標及び各施策の評価並びに計画の見直しを行い策定しています。計画の対象期間は下記のとおりです。

なお、本計画に基づく施策の実施に際しては、適宜その進捗状況の把握に努めます。

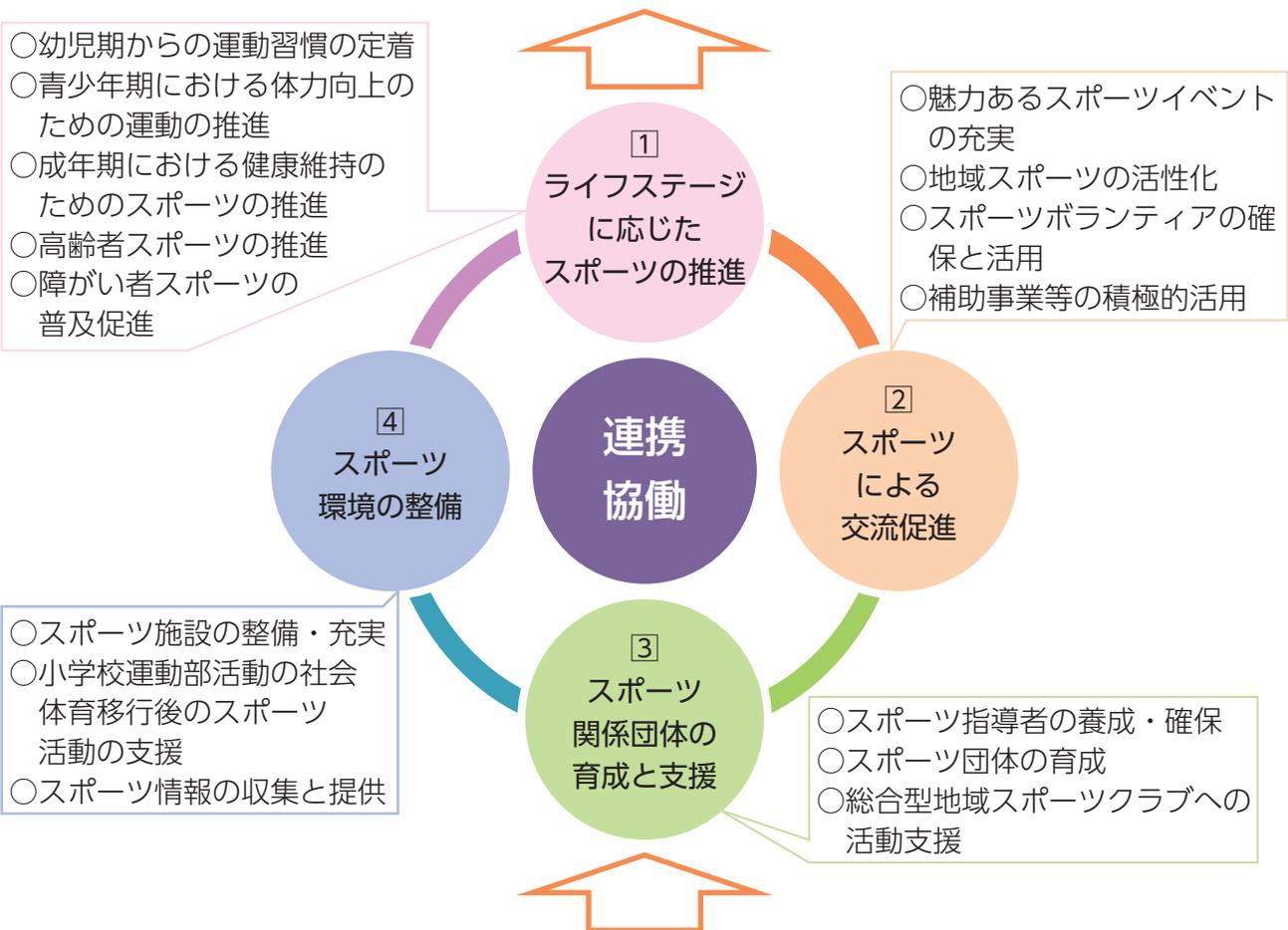
参考：御船町スポーツ振興計画（平成22年度～平成26年度の5ヵ年）
御船町スポーツ推進計画（第1期：平成27年度～令和元年度の5ヵ年）
御船町スポーツ推進計画（第2期：令和2年度～令和6年度の5ヵ年）

4 施策の体系

【基本理念】

健康いきいき、活気あふれるスポーツの町 みふね

する・みる・ささえるスポーツをとおして、すべての町民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら、健康で活気あふれる生活を実現する姿を目指す。



地域の人々やスポーツ関係団体、行政等が連携・協働し「自助・共助・公助」のそれぞれの視点で効果的に施策を展開し、支え合う環境づくりを促進します。

○自助：自分できることは自分の力で取り組む

- ・ウォーキングやストレッチ、体操等

○共助：家族や地域等の周りの人と共に取り組む

- ・スポーツサークル等への参加
- ・地域健康づくり事業への参加
- ・公民館等での活動への参加

○公助：関係機関等の力を借りて取り組む

- ・各種運動教室等への参加
- ・健康づくり拠点施設の活用
- ・ウォーキングコースの活用

II

施策の展開

本計画では「御船町スポーツ推進計画」に掲げる目標達成のための4つの柱をふまえ、「健康いきいき、活気あふれるスポーツの町 みふね」の創造を目指します。

1 ライフステージに応じたスポーツの推進

子どもから大人、高齢者や障がいのある人など町民の誰もが生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じて「する・みる・ささえる」などの活動により、スポーツを生活の中に位置付け、主体的にスポーツを楽しむことが大切です。

○幼児期からの運動習慣の定着

- ・関係機関との連携
- ・運動遊びの奨励

○青少年期における体力向上のための運動の推進

- ・学校教育活動全体を通じた体力の向上
- ・小学校における社会体育活動、中学校における運動部活動の充実

○成年期における健康維持のためのスポーツの推進

- ・スポーツ活動機会の提供
- ・スポーツによる生活習慣の改善



陸上記録会

○高齢者スポーツの推進

- ・高齢者向けスポーツ活動機会の提供
- ・地域における高齢者向けスポーツ活動の推進

○障がい者スポーツの普及促進

- ・関係機関との連携
- ・障がい者スポーツ活動の提供



県民体育祭



町民スポーツ大会

2 スポーツによる交流促進

各地域で開催されるスポーツイベントは、愛好者の日常的なスポーツ・レクリエーション活動の成果を発表する場であり、日頃スポーツに親しむことのない人がスポーツを始めるきっかけとなる場でもあります。また、スポーツイベントを間近でみることは、スポーツに親しむ町民の増加や地域の活性化にも寄与することが期待されます。

町民が主体的にスポーツに関わり、さらに多くの住民が参加できるよう、実施方法や効果的な広報活動などについても検討しながら、地域の特性を活かした魅力ある大会の充実を図る必要があります。

○魅力あるスポーツイベントの充実

- ・既存行事（町民スポーツ大会・地区対抗駅伝大会・フネッピー祭等）の改善

○スポーツボランティアの確保と活用

- ・イベントのニーズに合ったボランティアの募集・人数の確保

○地域スポーツの活性化

- ・地域主催者とスポーツ推進委員の効果的連携

○補助事業等の積極的活用

- ・補助事業（toto^{注1}等）の活用によるスポーツ教室の実施

（注1）スポーツ振興くじ（toto）は、だれもが身近にスポーツに親しめる環境整備や、競技力向上を行うための財源確保の手段として導入されたものです。



3 スポーツ関係団体の育成と支援

スポーツ推進委員をはじめ、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の指導者など地域によるスポーツ指導者には、スポーツそのものの楽しさやスポーツマンシップ等を伝えることや競技力向上のための指導技術も求められており、指導者の資質の向上が求められています。また、スポーツイベントの開催や各種大会の運営には、ボランティアの存在は不可欠であり、指導者も含め、スポーツを支える人材を育成していく必要があります。



県総合型地域スポーツクラブ交流大会

○スポーツ指導者の養成・確保

- ・スポーツ推進委員の活動支援
- ・各スポーツ団体指導者の養成・確保

○スポーツ団体の育成の推進

- ・体育協会の活性化
- ・青少年期のスポーツ活動を支える団体への活動支援
- ・資質向上を目指した指導者研修会の実施

○総合型地域スポーツクラブへの活動支援

- ・クラブの育成・支援
- ・周知活動の充実、組織の強化
- ・指定管理者との連携による専門性やサービスの向上

4 スポーツ環境の整備

住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備することは、地域社会の再生において重要な意義を有するものであり、生涯を通じた住民のスポーツ参画の基盤となるものです。このような観点から、総合型地域スポーツクラブを中心とする地域スポーツクラブが、地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、さらなる育成とその活動の充実を図る必要があります。誰もが気軽にスポーツに親しみ、そして楽しむことができるよう、町民の幅広いスポーツ志向に対応したスポーツスタイルの拡大を図り、スポーツへの参加機会の拡充を図り、身近な施設でそれぞれの目的や好みに応じてスポーツ活動を自主的に楽しむことができる環境づくりを推進する必要があります。

○スポーツ施設の整備・充実

- ・既存施設の計画的な整備
- ・日常的にスポーツに親しむ場の整備・充実



スポーツセンター

○スポーツ情報の収集と提供

- ・ホームページ・広報誌等を活用した効果的情報提供

Town Report

まちのわだい

熊本県中学校総合体育大会

**御船中サッカー部が準優勝
硬式テニス部ダブルス個人で3位
九州大会へ**

7月20日から29日にかけて開催された県中学校総合体育大会では、サッカー部が決勝で強豪校ルーテル学院中学校と対戦。激闘の結果、敗戦しましたが、御船中学校初の準優勝を勝ち取り、九州大会へ出場します。硬式テニス（個人）では、女子ダブルスで定立来未さん（3年）と松久保沙恵さん（3年）ペアがトーナメント戦で善戦し、3位となり九州大会への切符を手に入れました。

まずは「初戦突破！
3年最後の夏、少しでも長く
このペアでプレーを続けたい！」

目標は九州大会へです！
皆さんの力からの応援を力に
チームをひとつに戦います

○小学校運動部活動の社会体育移行後のスポーツ活動の支援

- ・新規・既存クラブの活動状況の把握と支援



七滝中央総合運動クラブ



スポーツ推進委員活動の様子

Ⅲ

数値目標

項目	現状値	目標値
週2回30分以上スポーツをする町民の割合	40.7%	50.0%
日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上する町民の割合	55.9%	60%
総合型地域スポーツクラブ（フネッピーすこやかスポーツクラブ）の会員数	158人	300人

●計画の進捗管理について

1 御船町における推進体制の整備

- 計画は、社会教育課社会体育係を中心に、関係団体と情報共有や連携を図りながら、進捗管理を行います。
- 本計画で掲げた町民のスポーツ推進に関する各施策については、P D C Aサイクル（計画管理のためのサイクル）を実行し、毎年、担当課において点検や評価を行うことで計画の進捗状況を把握し、実効性を確保します。



2 町民視点からの推進体制の整備

- 計画の進捗状況や数値目標の達成状況を、広報紙やホームページ、スポーツ推進委員広報紙を活用して随時公表し、町民や関係団体などの意見の施策への反映に努めます。
- 御船町スポーツ推進計画策定協議会において、計画の進捗状況を管理します。

3 町民、団体等との連携・協働

- 町民が、日常的にスポーツに取り組めるよう意識啓発活動を推進するとともに、誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。
- より一層のスポーツ活動の振興を図るため、スポーツに取り組む各種団体の自主的な活動を支援するとともに、各種団体と連携・協働した取り組みを積極的に実施します。
- 意見箱やアンケートなど収集し、町民ニーズを把握した上で計画の改善などに活かします。

評価方法 「S・A・B・C」の4段階で評価

区分	評価の基準（目安）
S	着実に進捗している（年度計画に対して100%以上の実績）
A	おおむね順調に進捗している（年度計画に対して80%以上100%未満の実績）
B	やや進捗が遅れている（年度計画に対して60%以上80%未満の実績）
C	進捗について課題がある（年度計画に対して60%未満の実績）



1 スポーツ活動の実践

具体的な取り組み	総合評価	総合意見
①スポーツ活動による健康体力づくりの促進	B	熊本地震による落ち込みも復興と共に回復傾向にあると思う。各世代による運動行動の二極化もあり、目標値（週2回、30分以上、スポーツを推進する町民が50%を超える）には届いていない。
②子どもの体力向上・スポーツ活動の充実	A	熊本地震で落ち込んだ体力も各学校の努力により、県基準値を上回る項目が大幅に増加したことは評価できる。小学校運動部活動の社会体育移行後の子どもの運動機会を保障する取組を期待する。
③高齢者の運動・スポーツ活動の普及・啓発	A	高齢者スポーツの普及は一定の成果を収めているが、地区体育協会の活動には地域間格差がある。子どもたちと同様に運動の二極化が進んでいる状況を踏まえ、交流の場の側面からさらなる普及啓発を進めてほしい。
④障がい者のスポーツ活動の推進・支援	A	ユニバーサルデザインの観点から、障がいの有無にかかわらずお互いが同等に楽しめるようなニュースポーツの普及は有効と考える。

2 スポーツによる交流促進

具体的な取り組み	総合評価	総合意見
①総合型地域スポーツクラブの充実	A	町全体の人口減少、高齢者の人口増を考えると会員数の維持は評価できる。クラブ存続のためには今後も会員数の増加を見込めるような魅力ある取組に期待する。小学生のスポーツ活動の受け皿としても期待したい。
②魅力あるスポーツ教室・イベントの充実	A	町主催事業は一定の成果を収めていると思うが、魅力あるスポーツイベントとは言い難い。民間のアイデア・支援を活用したい。
③スポーツ推進委員による地域スポーツの活性化	A	献身的に町の行事に関わっているスポーツ推進委員の活動を評価したい。各地域におけるスポーツ活動の推進は地域間格差もあるので、研修等の実施で底上げを図ってほしい。

3 競技力向上

具体的な取り組み	総合評価	総合意見
①各種専門的な競技力向上と支援	A	競技人口の減少、有望選手の町外への流失等により、郡民体育祭・駅伝大会の成績はかつての栄光の時代には及ばない。競技力向上のための創意工夫ある取組が求められる。
②ジュニア世代の競技力の向上	B	ジュニア世代、特に中学生・高校生の指導者確保が急務である。指導を学校の先生に求めるだけでなく、外部指導者の確保を含めた抜本的な改革が求められる。
③指導者の資質向上と指導体制の充実	B	指導者層の高齢化が見られる。指導者と競技者の価値観のずれが生じてきており、研修の必要性、後継者育成という課題も顕著である。

4 スポーツ環境の整備

具体的な取り組み	総合評価	総合意見
①スポーツ活動の場の充実	A	熊本地震で大きな被害を受けた町内スポーツ施設（町民グラウンド・スポーツセンター・学校の体育館等）の環境整備は評価したい。各施設の利用状況が手軽にわかるとありがたい。設備・用具の充実に配慮がなされている。耐用年数などを考慮し、計画的に整備できる予算化が必要である。
②指導者の発掘・確保、活用体制の充実	B	人材バンクの充実、人材確保を目指しての行政側の努力は認められるが、地域情報の収集には課題が見られる。人材確保の取組にはひと工夫必要。
③スポーツボランティアの確保と活用	B	スポーツ推進委員や役場職員等に頼ってきた現状から一歩踏み出す努力が必要。高校生のスポーツボランティアは、今後の人材発掘のヒントになる。
④補助事業等の積極的な活用	A	国、県の補助事業、toto等の団体からの補助事業は有効に活用している。町民のニーズに応えられるようアンテナを高くして事業獲得を目指したい。
⑤スポーツ情報の収集と提供の工夫	B	指定管理者移行で情報提供が充実すると期待している。広報紙やインターネットなど多彩な媒体で発信しているが、更なる工夫が必要である。

御船町スポーツ推進計画策定協議会委員名簿（敬称略）

組織名	氏名
御船町嘱託員会長	中熊博明
御船町体育協会副会長	鋤崎澄夫
フネッピーすこやかスポーツクラブ会長	竹内昭剛
御船町スポーツ推進委員協議会代表	小幡美保
御船町婦人会会長	竹田津和子
御船町校長会会長	岡本博文
熊本県上益城教育事務所指導主事	梅田幸博

発行：御船町教育委員会社会教育課
〒861-3204
熊本県上益城郡御船町木倉1168
TEL 096-282-1261
FAX 096-282-0894
発行年月：令和2年3月